



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日  
東

上場会社名 株式会社メディアフラッグ 上場取引所  
 コード番号 6067 URL <http://www.mediaflag.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 康夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 中園 利宏 (TEL) 03 (5464) 8321  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	4,875	110.6	153	8.2	128	△9.4	38	△50.1
25年12月期第3四半期	2,314	—	141	—	141	—	77	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 38百万円(△50.7%) 25年12月期第3四半期 77百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	8.95	8.46
25年12月期第3四半期	18.45	17.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	5,354	1,092	20.3
25年12月期	4,173	886	21.0

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 1,084百万円 25年12月期 875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年12月期の配当予想額については未定です。

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	92.1	250	1.1	220	△10.7	110	△18.4	24.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) 株式会社シアーズ、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	4,580,694株	25年12月期	4,228,500株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	30,106株	25年12月期	34株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	4,339,232株	25年12月期3Q	4,225,320株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する一方で、個人消費は天候等の影響もあり持ち直しの動きに足踏みがみられ、また企業活動では消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって生産が減少するなど、緩やかな回復基調が続く中で弱さもみられました。

このような経済状況の中、当社グループの主な事業領域である消費財メーカー等への営業支援事業及び流通小売業等への覆面調査を提供する流通支援事業では、引き続き販売促進のための店舗店頭の改善と強化が重視される傾向が強くと見られ、また、効率化や省力化のためのアウトソーシングのニーズも高まりました。

このような事業環境に対応して、既存顧客からの受注拡大と新規顧客獲得のための提案活動に注力し営業支援事業及び流通支援事業ともに顧客基盤の拡大と収益の拡大を実現し、両事業の中核である当社単体の業績は売上面、利益面ともに好調な伸びとなりました。また、7月から連結子会社となった小型電子POP開発・販売の㈱シアーズも提案型営業の強化と費用の見直しの徹底により売上高、利益ともに連結業績に大きく貢献しております。

一方で、フットサルコート運営及び鍼灸院を事業とするK9(株)が利用者数は徐々に増加しているものの未だ採算が追いついていない状況であること、並びに和菓子製造・販売を事業とする㈱十勝たちばなについて事業再生の途上であることが課題であり、それぞれ業績改善に尽力しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、4,875,697千円(前年同期比110.6%増)、営業利益は153,484千円(同8.2%増)、経常利益は128,596千円(同9.4%減)、四半期純利益は38,861千円(同50.1%減)となりました。

なお、当社グループの主な企業の当第3四半期連結累計期間における各社単体業績は次の通りであります。

(単位：千円)

会社名	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
(株)メディアフラッグ	2,679,372	198,728	193,483	112,708
(株)シアーズ	309,632	50,617	50,081	44,816
(株)メディアフラッグ沖縄	128,889	3,464	7,300	5,609
キャビック(株)	453,231	△1,033	△1,498	△1,987
梅地垂福(上海)管理咨询有限公司	5,987	△7,052	△6,902	△6,902
K9(株)	24,605	△21,946	△22,137	△22,293
(株)十勝たちばな	1,408,036	△28,270	△44,088	△47,496
その他2社	29,462	△1,427	△813	△1,001

(注) 株式会社十勝たちばなは平成26年6月1日付で旧株式会社十勝と旧株式会社たちばなが合併した企業であります。株式会社十勝たちばなの合併前の期間における業績数値については旧株式会社十勝の業績と旧株式会社たちばなの業績の合算から両社間の取引を除いております。

また、セグメント別の業績は次の通りであります。

営業支援事業におきましては、リアルショップサポートの新規案件の受注や各メーカーが実施するキャンペーンや新商品の発売に合わせた推奨販売サービスの新規受注の拡大に加え、7月より連結子会社となった小型電子POP開発・販売の(株)シアーズの売上が加わり売上高は2,300,185千円(前年同期比95.8%増)、セグメント利益は338,953千円(同47.6%増)となりました。

流通支援事業におきましては、地方銀行等の金融機関や高速道路のサービスエリア等での調査店舗数が順調に推移し、ASEANでのコンビニエンスストアの店舗改善のコンサルティング案件の受注により、売上高は561,458千円(前年同期比7.5%増)、セグメント利益は354,888千円(同61.2%増)となりました。

ASP事業におきましては、既存顧客からのカスタマイズの受注に加え、新規顧客の獲得を実現しました。この結果、売上高は42,195千円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益は35,284千円(同76.9%増)となりました。

ストア事業におきましては、消費税増税前の駆け込み需要により一時的な売上増加に繋がりましたが、増税後の買い控えの影響等により売上高は572,945千円(前年同期比0.8%減)、セグメント利益は3,970千円(同24.9%減)となりました。

和菓子製造販売事業におきましては、沖縄での新店舗の出店や子会社の吸収合併に伴い両ブランドでの商品展開の実現により売上は好調に推移しつつある一方で、沖縄での新規ブランド立ち上げに伴う出店費用や台風等の悪天候の影響があり、売上高は1,404,054千円、セグメント利益は△53,794千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,180,570千円増加し、5,354,086千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ842,298千円増加し、2,339,744千円となりました。これは現金及び預金の増加366,914千円、受取手形及び売掛金の増加227,171千円等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ338,271千円増加し、3,014,341千円となりました。これは主にのれんの増加288,903千円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ974,353千円増加し、4,261,798千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ899,218千円増加し、1,931,191千円となりました。これは短期借入金の増加630,000千円、1年内返済予定の長期借入金の増加223,702千円等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ75,135千円増加し、2,330,607千円となりました。これは長期借入金の増加74,788千円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ206,216千円増加し、1,092,287千円となりました。これは主に資本剰余金の増加198,609千円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年8月11日に公表いたしました連結業績予想に対し、現時点における変更はありません。

今後、経済情勢や業務の進捗状況等により変動の可能性が生じた場合には速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、株式会社シアーズの株式を取得したことに伴い子会社となったため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	776,165	1,143,079
受取手形及び売掛金	542,441	769,612
商品及び製品	67,177	230,526
仕掛品	13,971	27,706
原材料及び貯蔵品	54,511	62,710
その他	49,500	114,047
貸倒引当金	△6,321	△7,938
流動資産合計	1,497,446	2,339,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,343,095	2,376,281
機械装置及び運搬具	679,891	680,789
土地	1,628,925	1,628,925
その他	287,499	312,226
減価償却累計額	△2,759,548	△2,820,438
有形固定資産合計	2,179,862	2,177,785
無形固定資産		
のれん	202,393	491,296
その他	71,889	71,683
無形固定資産合計	274,282	562,979
投資その他の資産		
その他	221,925	276,349
貸倒引当金	-	△2,772
投資その他の資産合計	221,925	273,577
固定資産合計	2,676,070	3,014,341
資産合計	4,173,516	5,354,086
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	103,195	117,817
短期借入金	170,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	317,876	541,578
未払法人税等	76,029	38,063
賞与引当金	-	2,400
ポイント引当金	1,430	4,884
その他	363,441	426,447
流動負債合計	1,031,972	1,931,191
固定負債		
長期借入金	2,187,331	2,262,119
資産除去債務	33,511	39,189
その他	34,630	29,299
固定負債合計	2,255,472	2,330,607
負債合計	3,287,445	4,261,798

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	284,266	287,545
資本剰余金	274,266	472,876
利益剰余金	311,856	329,575
自己株式	△16	△10,054
株主資本合計	870,372	1,079,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	434
為替換算調整勘定	4,363	4,063
その他の包括利益累計額合計	4,793	4,498
少数株主持分	10,905	7,846
純資産合計	886,071	1,092,287
負債純資産合計	4,173,516	5,354,086



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,314,901	4,875,697
売上原価	1,472,943	2,900,554
売上総利益	841,957	1,975,142
販売費及び一般管理費	700,099	1,821,658
営業利益	141,858	153,484
営業外収益		
受取利息	757	834
受取配当金	-	28
助成金収入	-	3,650
その他	1,144	4,135
営業外収益合計	1,902	8,649
営業外費用		
支払利息	494	30,464
その他	1,373	3,073
営業外費用合計	1,868	33,538
経常利益	141,892	128,596
特別利益		
固定資産売却益	-	1,362
特別利益合計	-	1,362
特別損失		
固定資産除却損	1,093	1,265
特別損失合計	1,093	1,265
税金等調整前四半期純利益	140,798	128,692
法人税、住民税及び事業税	59,839	84,969
法人税等調整額	3,344	5,145
法人税等合計	63,184	90,115
少数株主損益調整前四半期純利益	77,613	38,577
少数株主損失(△)	△331	△284
四半期純利益	77,944	38,861

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	77,613	38,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	354	4
為替換算調整勘定	△273	△300
その他の包括利益合計	80	△295
四半期包括利益	77,694	38,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,025	38,566
少数株主に係る四半期包括利益	△331	△284

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年7月1日を効力発生日とした株式会社シアーズを完全子会社とする株式交換を実施したことにより、資本剰余金が195,330千円増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	営業支援 事業	流通支援 事業	ASP事業	ストア 事業	和菓子 製造販売 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,174,479	522,224	40,889	577,308	—	2,314,901	—	2,314,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,174,479	522,224	40,889	577,308	—	2,314,901	—	2,314,901
セグメント利益	229,567	220,187	19,944	5,287	—	474,987	△333,129	141,858

(注) 1. セグメント利益の調整額△333,129千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	営業支援 事業	流通支援 事業	ASP事業	ストア 事業	和菓子 製造販売 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,297,231	559,271	42,195	572,945	1,404,054	4,875,697	—	4,875,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,954	2,186	—	—	—	5,141	△5,141	—
計	2,300,185	561,458	42,195	572,945	1,404,054	4,880,839	△5,141	4,875,697
セグメント利益	338,953	354,888	35,284	3,970	△53,794	679,303	△525,818	153,484

(注) 1. セグメント利益の調整額△525,818千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。